

当科での研修を検討中の若手レジデントへ

井上 堯文

はじめまして。心臓血管外科レジデントの井上と申します。

まず当科の臨床における特徴は、対象疾患の幅広さでしょう。標準的な心臓手術を安全確実に遂行するのはもちろん、大血管、末梢血管の血管内治療（ステントグラフト）に加え、心房細動に対する脳梗塞予防手術など他には無い新たな試みを多く行っております。各手術件数も年々増加しており、心臓血管外科専門医に必要な臨床経験点数は1年でほぼ充足します。また、熱意があればステントグラフトの実施医も、胸部、腹部ともに取得可能です。

研究に関しても、臨床から得た知見を学会発表、論文という形に落とし込んで更に臨床へフォードバックしていくという姿勢が重視されています。外科医は手術をやりっ放しにするのではなく、自らその結果を厳しく評価し改善していく必要があります。そのためには外部の客観的な視点が必要であり、そのための最善のツールが学会発表、論文です。今年も ACC や AHA をはじめとする一流の国際学会での発表や論文化を行いました。

また、末松先生が構築した他の診療科医師のみならず、医療スタッフ、コメディカルとの「チームワーク」も当院の大きな特徴です。心臓血管外科専門のコーディネーターの存在、フットワークの軽い優秀なナース、MEの方達、リハビリテーション部門の充実などにより、外科医が外科医としての仕事に集中できる環境が整っています。大規模病院にありがちな部門間の壁や膨大な雑務は無く、手術技術の向上と論文作成に邁進できるでしょう。

筑波記念病院では、若いやる気のある心臓外科医の来訪を歓迎しています。当科部長の末松先生のような academic surgeon へと、大きく成長できると思いますし、私自身もそれに向かって日々邁進しています。

筑波記念病院心臓血管外科の修練について

岡村 賢一

私は、卒後 5?6 年目の 2 年間、筑波記念病院心臓血管外科でトレーニングをさせていただきました。

振り返ってみると、現在の私があるのは全て部長である末松先生のお陰だと言っても過言ではありません。少しだけ私と末松先生のことを紹介させて頂きたいと思います。

私は大学を卒業後、母校の大学病院でごく普通の研修医として過ごしておりましたが、心臓血管外科医を志すにあたり母校のカリキュラムでは一人前になれないと感じ、研修医 1 年目の後半から就職活動を始めました。私の母校はやや特殊で、辞める際に多大な負担が生じるため、就職活動と言っても条件を満たすところは少なく、それでも何とか探して幾つかの病院を見学に行きました。一時、ある病院と話がうまく進みそうになったものの、結局は破談となり途方に暮れるということがありました。その数週間後に、破談となった病院の先生が私を心配して「つくばに信頼のおける外科医がいるから一度会って見ないか？」というメールを下さいました。正直初めは「筑波記念病院…？」とは思いましたが、千載一遇のチャンスだと思い、すぐに連絡をとって病院見学に行ったのを覚えています。末松先生に初めて会った日に、純粹に「この先生に着いて行きたい。」と感じ、肝心の手術見学をすることを忘れ、直感で就職を決めてしまいました。今思えば、人生最大の決断を、最短かつ直感のみで決めてしまった当時の自分は、本当に無謀だったと思いますが、今では最良の選択をしたと心から思っています。

その後、研修医2年目・後期研修医を筑波記念で過ごし、心臓血管外科医として末松先生の下で働き始めたのは、出会ってから3年後でした。それからは、がむしゃらに働きました。

卒後5?6年目の2年間の研修を端的にまとめますと、心臓大血管手術の術者20例程（AVR7例、ASD2例、CABG2例、AAA7例等）、末梢血管の術者多数、心臓血管外科専門医の取得点数1000点弱、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医取得、胸部・腹部ステントグラフト実施医基礎経験を両方取得、first authorで英語論文4本(Eur J Cardiothorac Surg, Interact Cardiovasc Thorac Surg, Circ J, Ann Vasc Surg)、日本語論文4本、学会発表30本程（参加費・出張費は全て病院負担）。この間に、末松先生のはからいで現在所属している東京大学大学院を受験させて頂きました。また、血管吻合や冠動脈末梢側吻合は、当時末松先生に習った通りに現在も続けていて、特に冠動脈吻合コンテストであるChallenger's Live Demonstrationsで、2年連続で決勝に出場することができたのも、つくばでの2年間があったからだと思っています。

つくばという土地柄も大変良く、程よく都会で程よく田舎です。電車で1時間以内で都内に出れるアクセスの良さがある一方で、百名山の1つである筑波山・港や水族館で有名な大洗・ROCK IN JAPAN FESTIVALで有名な国営ひたち海浜公園など、車で1時間もあれば余暇を楽しめる場所が沢山あります。また、茨城の人々は大変大らかで暖かい方ばかりでした。ですので、私のような部外者でも大変働きやすく、約5年間働いて退職する時には、皆さんとても暖かく見送って下さいました。今では本当に良い思い出です。

筑波記念は、今では私がいた頃よりも年々手術件数が増えており、今後修練される先生にとっては大変であることは間違いありませんが、これほど充実感を味わえる環境もなかなかないと思います。是非一度見学にいらして下さい。